



<施設の概要>
 所在地：東京都大田区下丸子3-30-2
 建築面積：3,846.93㎡
 延床面積：61,079.67㎡
 構造：地上鉄骨造、地下鉄筋コンクリート造
 規模：地上18階、地下2階、塔屋1階
 設計・監理：榎大林組東京本社一級建築士事務所
 施工：建築/榎大林組
 電気/榎岡電工
 竣工：平成14年3月

開放感のある明るい空間を演出しながら きめ細かな照明制御で省エネに配慮

世界本社の機能を有した開放感のある オフィスビル

キヤノン本社棟は、1・2階に吹き抜けのエントランスホール、3階に食堂、4階に会議室、5～16階に事務所、17・18階に役員室など、世界本社としての機能を網羅した構成で、事務所階南側中央部に4層毎にアトリウムを配することで、外光を有効に取り入れるとともに階層間のアクセスを容易にしています。また、天井にアルミパネル、壁と床に大理石を敷詰めた1階エントランスは、建物の顔となる吹き抜けの空間として前面にある池からの反射光や光天井により、開放感のある明るい雰囲気演出しています。

事務所階の照明設備は、建物の柱ピッチ(9×15m)をベースとしたモジュール構成で、システム天井にHf32W蛍光灯ランプ1灯用ルーバ付器具(空調給排気口組込)を1.5mピッチで連結し、照度センサーにより机上面を700lxに制御することで、外光の有効利用による省エネと快適なオフィス空間の創造が図られています。

3階の食堂は、夜はお酒も飲める場所として利用されるため、アクリルルーバの6連器具にHf32W蛍光灯ランプを8灯組んだライン照明とし、手元での調光を可能としています。会議室は、間接照明とダウンライトにより多用途に対応でき、AV設備と連動して調光も可能となっています。共用部は、Hf32Wコンパクト形蛍光灯ランプをベース照明とし、トイレや喫煙室は人感センサーによる点滅で消し忘れを防止しています。

また照明制御は、建物全体の誘導灯設備に常時消灯・火災信号により点灯する方式を採用したほか、共用部は中央監視設備によるタイムスケジュール制御、事務所階は夜間1時間毎の間引き消灯および無人エリアの消灯(手元にて再点灯可能)さらにセキュリティシステムとの連動により人がいなくなった階は常夜灯を残し強制消灯することで省エネを図っています。

照明コンセプト

Lighting design concept

外光をふんだんに採り入れ明るい開放感の空間を演出する一方で、照明制御によりタイムスケジュール制御、無人エリアの消灯、夜間の間引き点灯、強制消灯などにより省エネを配慮。



エントランスホール：2層分の高さをもつ空間を光天井とダウンライトでドラマティックに演出



受付の照明



受付の照明



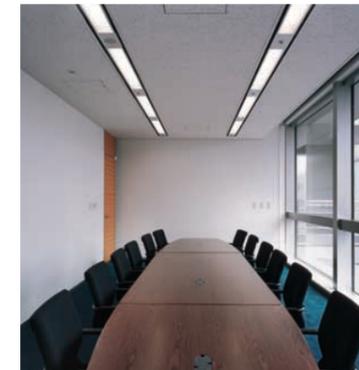
来客コーナー：ダウンライトを整列配置し、クオリティーの高い光環境を創り出している



事務室の照明：システム天井に32WHf蛍光灯ランプ埋込器具を連結配置。照度センサーによる外光補正制御で、適正照度を得ながら省エネを図っている



北側4層吹き抜けの光溢れるアトリウム



会議室の照明



会議室の照明：コンパクト形蛍光灯ランプ埋込器具を主体にして、快適な照明環境を創出



食堂：32WHf蛍光灯ランプ埋込器具をライン配置

主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
事務所階	埋込器具(パッフル付)	特注	10,600	32W Hf蛍光灯ランプ
エントランス	トラフ	特注	962	32W Hf蛍光灯ランプ
食堂	埋込器具(アクリルルーバ付)	特注	209	32W Hf蛍光灯ランプ
会議室	ダウンライト	特注	45	25Wコンパクト形蛍光灯ランプ×2
			13	25Wコンパクト形蛍光灯ランプ
共用部(廊下)	ダウンライト	特注	746	32W Hfコンパクト形蛍光灯ランプ
受付・来客コーナー	埋込器具(アクリルルーバ付)	特注	258	32W Hf蛍光灯ランプ